修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　鴻田好通
〒102-0074
東京都千代田区九段南
2－6－8九段南ビル
☎03（5275）6651
http://www.d2.dion.ne.jp/~shuryo
e-mail shuryo@d2.dion.ne.jp

財団法人全国修学旅行研究協会（全修協）は、日本の教育の振興に寄与することを目的とし、教育を熱愛し子供たちの幸福を希求する人々の支持を得て、修学旅行の改善向上を目指して、全国的規模で活動する文部省許可の教育研究財団である。

体験学習の取り組み、各地で活発化

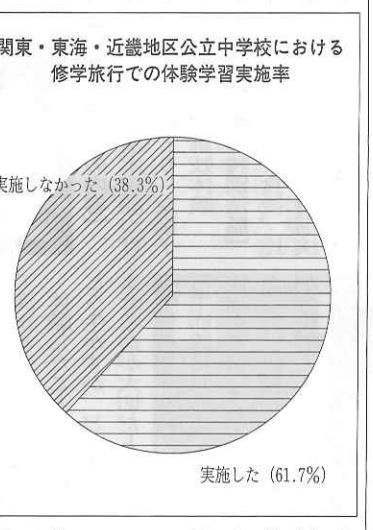
－平成11年度、関東・東海・近畿地区公立中学校修学旅行実施状況調査より－

先頃、平成十一年度修学旅行の実施状況が関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会（略称：三地区修旅委）で集計されたが、その中で修学旅行中に実施される体験学習が各地で活発化している状況が判明した。

それによると、平成十一年度に、関東・東海・近畿地区公立中学校が修学旅行中に体験学習を実施した学校数比率は、三地区合計で六一・七％となっており、平成九年度の全国中学校における体験学習実施学校数比率三二・五％（全修協調査）に比して、大幅に上回っている事となった。

特に、関東地区公立中学校の実施学校数比率は六一・八％と高く、大半以上の学校が何かしかの体験学習を修学旅行中に実施していることが分かった。

平成十四年度からの新学習指導要領による小・中学校での新カリキュラムでは、従来にも増して体験学習への取組が求められている。この機に、当協会は平成十二年度事業計画の中で、各学校における体験学習取組への考え方、学習素材、各学校での実施事例等を当修学旅行新聞やインターネットホームページに掲載、情報発信していくことを決めた。



清水焼絵付け

［体験学習の実施状況］

前述の通り、三地区修学旅行委員会合計での体験学習実施校比率は修学旅行実施校の約三分の二と非常に高い比率を示しているが、地区別に見ると、実施率に差がある。

関東地区と近畿地区は共に六〇％以上となっているが、東海地区は四四％と関東・近畿地区に比べて低い状況となっている。

特に、関東地区からの修学旅行先はほとんどが関西方面であり、又、東海地区からの旅行先は首都圏であり、近畿地区からの旅行先は首都圏方面と九州をメインとした西日本方面となっている。

近年、それぞれの旅行先には体験学習受入の資料・情報・施設が充実してきているが、学校側の求める学習効果の上がる受入を完備するには今以上の努力が必要かと思われる。

（3面に関連記事あり）

京扇子づくり

体験学習の実施状況

関東・東海・近畿地区公立中学校
（平成11年度　全修協調査）

（単位：校、％）

地区	回答校数	実施した		実施しなかった	
		校数	比率	校数	比率
関東	914	565	61.8	349	38.2
東海	449	197	43.9	252	56.1
近畿	985	687	69.7	298	30.3
計	2,348	1,449	61.7	899	38.3

あ、シカだ！シカだ！
栃木県宇都宮市立宮の原中学校

═主張═

修学旅行と体験学習

―体験学習をどうすすめるか―

体験について、新学習指導要領総則・総合的な学習の時間の取扱では、自然体験、社会体験などの実体験と実験、見学や調査、発表や討論、ものづくりや生産活動などの体験的な学習を位置付けている。

体験が求められるようになった背景には「人間性豊かな児童生徒の育成」がある。「二十一世紀を展望したわが国の教育の在り方について」の中央教育審議会の審議のまとめは「生きる力」を形成する大きな柱として「資質・能力」「健康と体力」の知育偏重への反省であり、言うなれば、行動と学習の一体化、更に感情と知性の一体化を図ろうということである。人の学ぶという行為は、人間のあらゆる機能を総動員して展開されるべきものである。例えば、知的機能・情的機能とともに、身体の駆使、身体の各部の機能の重視、それを通しての理解・習得が不可欠であるということである。そこに、本当の意味での学ぶ喜び、成就感、感動が生まれる。体験学習の本質はまさにここにあるのではなかろうか。

このようなことから、修学旅行での体験学習の条件をまとめてみると、例えば、ものづくり体験であれば、製作者、作業者など本人の作業、その製作過程を直接に見る、聞く、そして作る等の活動（学習）があること。自然体験であれば、地理的・地域的自然や実地に臨む、生物や自然物・風景など実物に接する、歩く、動く、触れる、観るなどの活動（学習）があること。社会体験であれば、現実に機能している生産・流通、公共・福祉などの場に臨む、そこで働く人との触れ合い・補助的作業などの活動（学習）があることが必要である。体験をする生徒の側には、一人一人に身体を受け入れ先任せではなく、学校のきめこまかなフォローが必要である。

修学旅行を漠然と体験学習とするのではなく、社会体験なり自然体験なり、あるいは集団生活訓練か班別自主行動かなど体験の視点を明確にしておく必要とともに、生涯学習の一環としての視点、個性を伸ばす視点、日本文化の学習の視点、国際、地球・環境などの視点をどう踏まえるかが大切である。特に、単なる経験や一過性の体験としてではなく、意味のある体験、質的に高い内容、さらに発展する要素を含んだもの、生きてはたらく力として積み重なっていくものであることが必要である。そのためには、学校はその後の発展のプログラムを明確に持ち、個や集団に対応することが必要であろう。

風紋

花見にと群れつつ人の来るのみぞあたら桜の咎にはありける（西行法師）日本列島を桜が通りぬけていく、今更と思うむきもあろうが、花が咲いたの花見だのと騒ぐのは人間の勝手か、桜の咎か▲昨年末、全修協は本部事務所を神田錦町から九段に移した。靖国神社とは通りを隔てた隣である。九段は東京の桜の名所の一つである。江戸の桜を芭蕉は、観音のいらかみやりつ花の雲、花の雲鐘は上野か浅草かと吟じた。こうした名所の桜とはひと味違った桜もある。東京・高尾の森林科学園で「駿河台句」という桜に出合った。保存研究のため、全国二百五十種、二千本の桜がある。駿河台という馴染みの地名ゆえに記憶にあったが実際に神田駿河台で、通りに植えられているその桜を見て感慨も新たなものがあった▲歴史上の人物と桜の結びつきで興味を惹くのは聖武天皇である。大仏建立、仏教による国家統治のイメージの強い聖武天皇が天璽國押開豊桜彦尊と諡されている。誰が諡ったか、どうしてか、興味は深い。桜のイメージにぴったりの人物は源義経であろう。歌舞伎義経千本桜の舞台は吉野山ではなく伏見稲荷である。狐忠信、初音の鼓とあれば稲荷である。桜千本あるわけではないが、桜が千本ぱっと開いたような華やかさ、凛々しさと、散っていく儚さを義経に感じるのである▲ひさかたの光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ（大伴家持）しづ心なく散っていく花の境地とは如何なるものであろうか　（鴻）

教育の窓

子どものしつけと心
―ある調査から―

東京農業大学教授
前文部省初等中等教育局主任視学官
渡部邦雄

一　諸外国との比較

先般、文部省が委託した調査研究「子どもの体験活動等に関する国際比較調査」の結果が発表された。これは子どもの道徳観や家庭におけるしつけなどに関して、昨年十月～十二月にかけて、日本、韓国、米国、英国、ドイツの計五カ国の都市部に暮らす小学校五年生と中学校二年生計約六千六百人の回答を得た調査である。

同調査結果では、①日本の家庭では、しつけが十分なされていない②日本のこどもたちは総じてあまりお手伝いをしていない③日本の子どもたちの友人関係は総じて希薄であると指摘している。

具体的には、以下のようである。

（一）道徳観や正義感

「いじめを注意したことがある」（日本四％、米国二八％、ドイツ二五％）「友達のけんかを何度もやめさせた」（日本八％、韓国二九％、ドイツ二五％）「体の不自由な人やお年寄りの手助けを何度もした」（日本八％、ドイツ二二％）など、いずれも日本の比率が最低であった。

（二）道徳観や正義感

「いじめを注意したことがある」（日本四％、米国二八％、ドイツ二五％）「友達のけんかを何度もやめさせた」（日本八％、韓国二九％、ドイツ二五％）「体の不自由な人やお年寄りの手助けを何度もした」（日本八％、ドイツ二二％）など、いずれも日本の比率が最低であった。

（三）生活体験等の体験

「赤ちゃんのおむつのとりかえやミルクをやる」、「ボランティア活動をした」「働いてお金をもらった」「キャンプをした」などの諸体験は、いずれも「全くやったことがない」という回答の比率が、諸外国に比べて一番高く（二～十倍）、実際の体験が乏しいことを示している。

二　思うこと

この調査から、日本の小、中学生は、諸外国の子どもたちに比べて、社会のルールや道徳心に関するしつけを家庭で十分に受けていないことや友人関係が希薄であることが読み取れる。

もちろんこれらのデータの解釈については、各国の社会的、文化的な背景が異なり、一概には言えないであろう。

しかし、「うそをつくな」「人に迷惑をかけるな」「弱い者いじめをするな」などといった人間としての最低限の心得については、幼少期から各家庭において、しっかりとしつけることには異論はなかろう。

文部省、教育委員会、学校が、家庭の教育にまで口を挟むなとの声も聞こえてくる。しかし、今日の日本の青少年に見る一般的な（一部の例外ではなくなりつつある）実態（規範意識、マナーの欠如、問題行動など）を見たとき、大人としての責務は何かを考えれば、答えは明らかであろう。

学校が中心的な役割を果たしつつ、家庭や地域との実効性ある連携を図ることが課題となってくる。

道徳観・正義感については、いじめ、けんかの仲裁や、悪いことをしている友人に注意するなどが、諸外国に比して少なく、友人関係が表面的となっている。

そのため、各学校では、特別活動などの集団活動の一層の充実、道徳をはじめとする心の教育の推進などが重要となってくる。

生活体験、社会体験などについては、特に地域の祭りや行事への参加、友人とのけんかなどが他国に比して日本が多くなっている。

反対に、赤ちゃんの世話、ボランティア活動、働いてお金をもらうなどの体験は少ない。

今後の各学校における体験的活動の導入に当たっては、体験の「中身」をどうするかの検討が必要となりそうである。

修学旅行実施事例紹介　1

一人一人が楽しく生き生きと活動する修学旅行
～体験学習を通して～

栃木県宇都宮市立宮の原中学校

【参加人員】
引率教師　一七名
生　徒　二八六名

◆修学旅行の特色
一、生徒自らの手による奈良・京都の班別研修計画・実践
二、体験学習への積極的取組み

【体験学習の内容・場所】
①　生活文化体験
日本刺繍館、京扇堂
西陣織会館
青窯会会館
②　歴史文化遺産体験
比叡山延暦寺

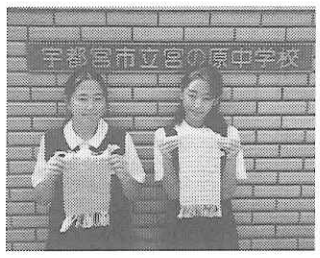
【体験学習の所要時間】
第一日目
奈良～京都宿舎　六時間
第二日目
京都終日　八時間
夕食後　一時間
［合計十五時間］
内、班別研修　八時間

【班別自主活動の内容】
西陣織、清水焼絵つけ、八つ橋づくり、京扇子絵つけ、舞妓体験

【学年全体での特別法話】
第二日目、夕食後、比叡山延暦寺にて特別法話を体験、その際、事前に一人一枚の雑巾を縫って奉納した。

◆体験・実践の成果
古都の歴史的遺跡を見学するだけでなく、直接体験することが出来、伝統を守る大切さを実感出来たと共に自ら計画を立て行動することにより、社会体験の不足を補い、責任感、連帯感、協調性が養われ、自主性・主体性を身につける事が出来た。

◆今後の課題
体験は一つや二つの体験で深まるとは思えない。
体験したことをその後、どう生かすか、どうふくらませるかが大切だと思う。
学校行事・学校内外の日常生活等において、どんな体験をさせ、それをどう「生きる力」に結びつけていくか今後考えていきたい。



〈修学旅行行程表〉

日次	月日曜	行程
1	1999 4/19 (月)	〈158名〉なすの232号 〈158名〉なすの234号 宇都宮 6:36（自由席） 6:48 東京 7:32 7:44 8:14 （発）ひかり283号（臨） 京都 10:53 11:30 近鉄特急 奈良 12:02 12:20 奈良 班別自主研修 旅館（泊） 18:30
2	4/20 (火)	終日、班別自主研修 旅館 8:00 …… 旅館（泊） 16:00 《体験学習》比叡山延暦寺根本中堂にて『特別法話』 18:00発～21:20着
3	4/21 (水)	1組 旅館 8:20 京扇堂 8:50 10:20 二条城 10:30 11:20 11:40 5 6 8組 旅館 7:40 清水寺／地主神社 8:10 10:30 三十三間堂 10:50 11:30 11:40 3組 旅館 7:30 清水寺 8:00 9:50 北野天満宮 10:20 11:10 11:40 2 4 7組 旅館 7:30 清水寺 8:00 9:30 二条城 9:50 10:40 三十三間堂 11:00 11:30 11:40 （発）ひかり312号（臨） 京都 12:27 東京 15:07 〈196名〉やまびこ137号 東京 15:32 宇都宮 16:22 〈120名〉やまびこ49号 東京 16:04 宇都宮 16:57

Discovery
未来の体験学習はここにある。
スペースワールド
&
スペースキャンプ
日本で唯一の本格的宇宙体験施設
スペースワールド®
インフォメーションセンター　TEL093-672-3600
団体予約センター　TEL093-672-3400
〒805-0002 北九州市八幡東区スペースワールド
http://www.spaceworld-inc.co.jp/
© SPACE WORLD INC.

美しくに 伊勢志摩
伊勢内宮前 岩戸屋 へ
内宮前でのお食事は階上・階下共1,500名様までお楽にお食事が出来ます。お食事ご休憩にご利用下さい。
おみやげコーナーは伊勢参拝記念の土産を豊富に販売致しております。
インターネット：http://www.iwatoya.co.jp
E-Mail：iwatoya@mail.iwatoa.co.jp
伊勢市内宮前
岩戸屋
伊勢内宮前（〒516-0024）
ＴＥＬ〈0596〉23―3188㈹
ＦＡＸ〈0596〉28―1322

――修学旅行の楽しいお食事――
箱根 彫刻の森美術館内
レストラン コンポート
◇500名様迄、ご利用いただけます。
◇当レストランは、彫刻の森美術館内の施設ですので、入館を必要とします。
〒250-0407
神奈川県足柄下郡箱根町二の平1121
☎0460(2)2221（予約センター）

古代文化邪馬台国ルート
壱岐へ...
魏志倭人伝に一支国の名で記されている。
古代大陸交流の要としてクニを構えていた壱岐。
イルカとの共生をはじめ自然とのふれ合いが出来る絶好の教育旅行の場としてお薦めします。
壱岐教育旅行受入協議会事務局
九州郵船
TEL（092）281-0831
FAX（092）281-0444
URL http://www.mapion.co.jp